

ざっそう

NO. 11/2023 (通算792号)
 2023・9月号
 建交労 関西合同支部
 e-mail kgs8815@yahoo.co.jp
 TEL 075-205-0421
 FAX 075-203-8405 部内資料

第25回建交労中央定期大会

8月26日(土)から28日(月)の日程で、建交労第25回定期大会が群馬県磯部温泉で開催し支部から7名が参加しました。

主催者のあいさつを行った角田季代子中央執行委員長は、岸田政権が閣議決定した安保3文書を批判し「戦争する国に突き進むか、踏みとどまるかの重要な時期だ。建交労の『失業と貧乏と戦争に反対する』のスローガンを掲げ運動を広げろ」と強調しました。またジェンダー平等については、「日本のジェンダーギャップ指数が146カ国中125位だ。ジェンダー平等の



視点で人間らしく働ける職場をつくろう」と訴えました。大会初日の廣瀬中央書記長による「10万人アンケート全組織取組みの追及」「物価高騰による実質賃金低下を打開する賃金闘争の推進」「全国一律最低賃金の法制化、1500円以上の実現」「産業別、業種別闘争で仕事確保、単価改善」「9条改憲阻止」など2024年度運動方針の提案にもとづき、1日目特別報告3名、2日目討議56名(1名文章発言)が発言しました。運動方針は各代議員の発言や各地のとりくみによって補強され、支部からの発言では、京都府本部特別代

議員の筒井書記次長より「京都トラック部会及び支部のトラック産業別闘争の総括」について、支部の代議員で参加した橋本委員長より「支部の1年間の教育宣伝」、長谷川副委員長より「大陽液送大田貨物班控訴審」、傍聴で参加した吉村副委員長より「長崎原水禁世界大会参加報告及び九州キャラバンの報告と内田



表彰では、機関誌「ざっそう」が審査員特別賞を受賞しました。

ライオン控訴審」それぞれ発言を行いました。最終日には2024年度財政方針案など採択しました。最後に角田中央執行委員長の発声で団結「がんばろう！」を三唱し大会を終えました。



原水禁世界大会in長崎

原水爆禁止日本協議会（原水協）の世界大会・長崎大会が8月7日、長崎市魚の町の市民会館で開幕され、支部からは、大阪2名・京都1名・兵庫1名・福岡2名の計6名で参加しました。



予定では9日まで3日間の予定でしたが台風6号の影響により急遽2日間開催に変更、大幅な日程変更となり、10日の分科会が午前中に変更、引き続き閉会式という日程となりました。

開会集会では、国内外から報告や訴え又ビデオメッセージ等各方面からの発言があり、「核兵器は『絶滅』だけを目的とした狂気の兵器。認められない絶対悪だ」と述べ、廃絶を訴え。「核兵器禁止条約の締約国が核のタブーを強化し、いかなる核兵器の使用も威嚇も明確に非難した」「条約の誕生に決定的な役割を果たした被爆者の声と警告を広げること、かつてなく重要」

「この条約はもつと多くの国の署名と批准が求められている。」その他長崎市長をはじめとし、各方面からの核兵器廃絶へ向けての訴えがありました。

2日目は、建交労の「敬朋」墓前祭に参加しました。

主催は建交労長崎県本部で、「敬朋」は、1977年8月31日に建交労の前身である全日自労長崎県本部によって建立されました。全日自労長崎県本部では、原爆や戦争によって家族を失い一人残された組合員が、失業対策事業で多く働いていました。身寄りのない組合員は、死亡後長崎医大に検体に出していました。解剖後に手厚く葬ってくれるからです。当時の組合員が、引き取り手のない人の墓を作ろうと、長崎市と交渉し、全国の組合からカンパを募り、敬朋を建立しました。



本来なら次に分散会に参加するのですが日程変更の影響で直接閉会式に参加しました。閉会式では、

各団体・組織の訴えや運動が紹介され最後に「長崎からの呼びかけ」を全員の拍手で確認されました。

閉会式終了後すぐに、建交労の交流集会に参加し「原爆被害を継承する責任」先輩たちの壮絶な被爆体験を次の世代にと題して長崎県本部の中里さんより講義を受けました。又全参加者の発言もあり少ない時間でしたが有意義な集会だったと思います。

今年「G7広島サミット」での核抑止を前提とした考えが示されました。しかし、本当に示すべき方向は「ノーモア広島・長崎」「ノーモア被爆者」「ノーモアウオー」という被爆地からの発信ではないか。我々が取組んでいる核兵器禁止条約批准署名の推進することや憲法9条を守る闘いなど二度と戦争を起こさない国へそして、「長崎を最後の被爆地」になるよう運動を広げていく事の重要性を感じながら翌日台風に追いかけられながら帰路の途に就きました。

最後に皆様のカンパにお礼申し上げますと共に核兵器廃絶に向けてともに闘いましょう。

京部分会 重村

原水禁世界大会に参加して



代表参加者の
皆さんの感想

今回参加して印象に残ったのは、建交労の「敬朋」墓前祭に参加したことです。毎年8月8日に、墓前祭として皆でお墓参りをしているそうです。今回その墓前祭に初めて参加させてもらい先輩方の被爆者のお墓参りをさせて貰いました。

改めて原爆の怖さを感じ、「世界中で作らせない！使用させない！」という運動が大切だと感じました。今回もいい経験をさせてもらい、有り難うございました。

神戸分会 佐々木



今回久々に原水禁世界大会長崎に参加して被爆した方の平均年齢が85歳になっていて若い人達に伝えていく事の難しさをより一層感じました。

大会に参加していた高校生達の発言を聞いて感動し伝えていける若い人が増えて欲しいと思います。若い人達が頑張っている事で、自分も出来る事を一つでも多く頑張りたいと思います。

大阪分会 石原

初めて参加させて頂きました。台風の接近でかなり短縮されていましたがたくさんの人の話を聞くことができてとても勉強になりました。一日でも早く核兵器、戦争のない平和な世界になればいいなと思います。

大阪分会 尾浦

今回初めて原水禁世界大会・長崎に参加しました。前回長崎に来たのは、九州トラックキャラバンの時で、その時宿泊した



ホテルの近くに片足の鳥居がありましたので見に行きました。

石で出来た鳥居の半分が原爆の爆風で飛ばされていたのを間近で見て核爆弾がいかに威力があったのか実感しました。

核爆弾は爆風だけではなく熱線や放射線を放ち78年たった現在でも原爆病で苦しんでいる方がいるのが事実です。もう2度と核兵器が使用されない様に、78年前の8月6日広島、8月9日長崎で起きた核兵器の悲劇を次の世代にしっかりと伝える事が、我々の義務だと思います。

内田ライン分会 富田



建交断交流会では角田委員長をはじめ、東京、関西、広島、福岡、長崎、熊本の仲間から世界大会の感想や核兵器廃絶の意見など活発に交わされ、核兵器は非人道的で絶対に使用してはいけない、新たに作ることも許さず、新しい事ではないと実感する事ができ、世界大会で学んだ事を各地域で広げていく事が、この世界大会に参加した人の務めではないのかと参加者みんな確認しました。

最後に自分は長崎大会は初めての参加でしたが、一人でも多くの組合員さんに原水禁世界大会に参加をし、被爆地の広島・長崎、現地でしか体験できない様々な場所を観る事、被爆者の関係者からの話を聞く事は、今後の平和活動に繋がる取り組みになりますので是非参加をして頂きたいと思いました。

九州関急分会 吉村

核兵器いらない!! 反核トラックキャラバン

青年部が主催する「反核キャラバン」が開催され、各地で宣伝行動を行いました。支部からは、愛知1名、京都5名、大阪3名が参加し、核兵器廃絶を訴えました。

愛知



京都



大阪

またも、不当判決 大田貨物裁判

8月31日13時10分、大阪高裁第73号法定、女性判事が小さな声で判決文を読み上げました。

「主文、控訴人の本件控訴を棄却する。控訴費用は控訴人の負担とする」

一瞬「何を言ってるの」という中、再度弁護人の要請によりもう一度読み上げられましたが中身は変わらず、再度不当判決が下されました。その間わずか5分足らずでした。その後弁護士会館に移り弁護士より今回の判決の中身について報告を受けましたが、内容は1審判決を補足するだけの最初から棄却ありきの内容でまさに不当そのものでした。今後については弁護士・分会とも相談し、たたかう方向を確認していきます。

当面の日程<2023年>

- 9月10日 愛知県本部定期大会（労働会館）
福岡県本部定期大会
- 9月11日 第670回支部執行委員会（長岡京市中央生涯学習センター）
- 9月17日 大阪府本部定期大会
- 9月17日 京都府本部女性部総会（京都高齢者会館）
- 9月28日 内田ライン控訴審 判決（福岡高裁）
京都府本部常任執行委員会
- 10月 1日 支部定期大会（京都高齢者会館）
兵庫県本部定期大会
- 10月 2日 関急対策会議



関西合同支部第48回定期大会

日時 2023年10月1日 午前10時より



場所 京都高齢者会館
(〒601-8103 京都市南区上烏羽仏現寺町43番地)



QRコード



スマホやタブレットで読み込んで下さい。
支部ホームページに簡単に入れます。

関西合同支部



組合員専用ページパスワード
「oideyasu」（おいでやす）

